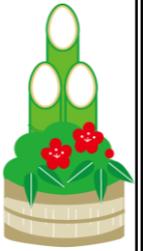


# 普及センター



# 1月



インターネットでオールカラーの記事が読めます！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第209号 令和6年1月1日発行

盛岡農業改良普及センター

盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎

TEL 019-629-6725 FAX 019-629-6739

## 新年のごあいさつ

初日がふるさとの山を静かに照らします。年が明け皆様には、穏やかな時とともに、一年の計が叶う良い年になることをお祈りします。

昨年中はお忙しいところ、当センターの様々な企画行事や圃場での実証、調査などに御協力を賜るとともに、農大生と国や県の職員、さらに新規就農希望者の研修など温かく受け入れていただきましたこと、改めて心から感謝申し上げます。

昨年の農業情勢は、物価高や気象の影響を被り険しい1年となりました。当センターの普及活動を振り返ると、最初に経営体育成では、個別経営や集落営農の経営発展に向けて研修会や専門家派遣などを定期的実施、新規就農は相談件数が増加しており、農業の良さも厳しさも理解して決断できるよう支援に努めています。また、女性農業者、食の匠、産地直売施設、農業農村指導士、農村青年クラブなどの組織活動は、4年ぶりに再開出来た交流行事も多かったため、今年はコロナ禍以前にも増して、盛り上げていただければ有難いです。

次に産地づくりでは、米の作柄は「やや良」、「銀河のしずく」は3千haにまで倍増し品質も良好で産地の底力を示していただき、野菜は全般的な出荷量の減少分を単価で補えきれないなか、主力のきゅうりで量、単価とも前年を上回ることが出来ました。花きも高温に苦勞しましたが、りんどうで出荷額が過去最高となり活力を感じています。果樹は、りんご、ぶどうとも特に凍霜害や猛暑などの被害が甚大で対策に奔走しました。畜産では、飼料高に加えて子牛価格の低落で一層厳しい年でしたが、酪農全戸巡回など相談活動に努めてきました。厳しい情勢のなか皆様は、日々出来る努力をなさってきたところであり、私たちも引き続き関係者と力を合わせて支援して参ります。

さて社会は、気候変動や国際秩序の変化、さらに人口減少や疫病との共存など、新たな時代への転換が進んでいます。近年の相次ぐ災禍をくぐり、食料を自給することがいかに大切か多くの人が再確認しました。今年は「食料・農業・農村基本法」が見直されますが、このなかでも、まず「食料安全保障の強化」を重点に、ほかにも「持続可能な農業の展開」「新たな技術の活用」など検討されています。当センターでも、先の変化を見通しながら新しい風を吹き込んで、一人一人の経営目標が達成できるよう、「県民計画」や「普及指導計画」に即して支援を続けて参ります。

今年の干支「辰」は、活力旺盛になり大きく成長し形がととのう年と言われています。これにあやかかって、皆様の日々の営みが活気づきながら、盛岡地方の新しい農業の姿が形づくられていくことをお祈りしています。

本年も皆様とともに上昇気流に乗っていけるよう進みますので、職員一同よろしくお祈りいたします。

令和6年1月1日

所長 加藤 満康

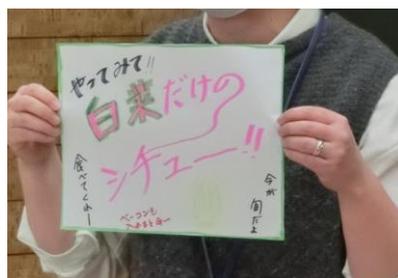
## 最新の活動紹介①：産直めぐり志和（紫波町）にて POP 研修会開催

令和5年12月12日、紫波町にある「産直めぐり志和」にて、POP 研修会が開催されました。これは、食のプロフェッショナルアドバイザー支援事業を受けて独自開催されたもので、組合員が売上向上に向けて POP の基礎や魅力的な POP 作りについて学びました。

初めに、講師の岩手志援株式会社の工藤めぐみ所長から、POP の効果や記載すべき内容について説明を受けました。特に最近の若い世代は「野菜の調理方法」や「塩抜きの方法」など、農家にはあたりまえの食べ方を知らないと説明を受け、食べ方やレシピ等を伝えることも POP の重要な役割だと学びました。

次に、講義で得た知識をもとに、自分たちで POP を作成し発表しました。作品の中には、白菜を使用したシチュエーションをお勧めする POP など、簡単でおいしいと一目でわかる POP が沢山紹介され、組合員の意欲が高まった研修会となりました。

普及センターでは、今後も産直の支援を続けていきます。



## 最新の活動紹介②：集落営農法人運営の勘どころ研修会を開催しました！



盛岡地方農業農村振興協議会は、集落営農法人運営の課題解決の一助にすることを目的に、12月6日「集落営農法人運営の勘どころ研修会」を開催しました。

この研修会には、管内の集落営農法人等12組織26名と関係機関15名が参加しました。

事例紹介では農事組合法人ゆもとファーム（花巻市）代表理事である八重樫光喜氏を講師に招き、法人設立の経緯や法人が一括で経営を行うプール計算方式による法人運営について紹介いただきました。

情報交換の場では、法人運営や労務管理などについて参加者から多数の質問が挙がり、また参加者から「プール計算方式について検討していきたい」という声も聞かれるなど、法人設立や運営改善に対して高い意欲が感じられました。

普及センターでは、今後も管内の集落営農法人等の経営発展に向けた取組みを支援していきます。



## 【令和5年度 盛岡地域産直施設向け 獣害対策研修会】のご案内



近年は獣害が頻繁に発生しています。

基本知識を身に付けて自衛に繋げるきっかけづくりに、ぜひご参加ください。

- ◆主催：盛岡農業改良普及センター
- ◆日時：令和6年2月15日(木) 10:00~12:00
- ◆場所：盛岡合同庁舎8階 講堂A（盛岡市内丸11-1）
- ◆内容：テーマ「野生獣に負けないために私達ができることって何？」  
講師 盛岡農業改良普及センター 技術主幹兼経営指導課長 中森忠義  
（農林水産省 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー）
- ◆対象：盛岡地域産直組合員及び関係者等

【お申込み・お問い合わせ】  
地域指導課（担当：今井） ☎629-6727（直通）

